



節分よもやま

今年の節分豆まき。毎年人気力士、歌舞伎俳優等を招いて盛大に行う成田山新勝寺など有名寺院は、何処も規模を縮小して行われるようです。コロナコロナです。それを見越してか、スーパーなどの食料品売り場は早い内から恵方巻の宣伝に熱を入れています。確か8年前に恵方巻のことを書きました。昔は無かったがいつのまにか定着したと書いた記憶が有ります。江戸時代から明治にかけて大阪の花街で商売繁盛を祈って食べ始めた太巻き寿司、そのルーツは関西ですが、恵方巻と命名して売り出し全国区にしたのは平成元年広島県内に有るセブンイレブンだそうです。しかもその店長は大阪出身との落ちが付き、関西に大いに関係が有りそうです。バレンタインのチョコレート、恵方巻の寿司と、すっかり商売人の戦略にしてやられた感が有ります。付け加えればバレンタインチョコは昭和10年に神戸のモロゾフ製菓が英字新聞に宣伝を載せたのが始まりとか。商売の源、関西商魂の逞しさに脱帽です。

節分、読んで字のごとし、季節を分ける意味があり各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日を言います。特に一年の始まりは春と言う意味合いから一般的には立春の前日を言います。

普段であれば、2月3日若しくは4日が「節分」ですが、今年は、1日早い2月2日。3日でなくなるのは、1984年2月4日以来37年ぶり。2日になるのは1897年2月2日以来、124年ぶりとのことです。いったい、なぜ早まっているのでしょうか？少し面倒くさいですが「太陽の周りを地球が1周する1年、このことを天文の世界で「1太陽年」と言います、それには半端な数字が付いていて、365.2422日なんですね 365.2422日…？実は、地球は太陽の周りを1周するのに、365日よりも長くかかっているのです。時間にするとおよそプラス5時間49分。もし「1太陽年」が365.25日であれば、4年に1度、366日となる「うるう年」を入れるだけでズレを修正できるのですが、「2422」という半端な数字のため、「うるう年」だけではズレが解消できません。そのズレが積もっていった結果、節分の日が2月3日の前後に変わることが起きてくるのだそうです。明治30年、1897年以来、実に124年ぶりの2月2日の節分、はたして吉兆でしょうか？

面倒くさいことはここまでにして、皆さん恵方巻は食べますか？私の家もいつの間にか定着してしまいました。豆撒きは10年以上やっていませんが、今年は「コロナ払い」でやって見ようかな？

「福は～内、コロナは～外」 岩田記

成人式

今年の成人式は何処も縮小されて行われたようです。11日に市民会館の前を通った折り晴れ着姿のお嬢さんに出会いました。人数は多く有りませんでした。藤沢は時間をずらして複数回式典を行ったのでしょうか？

新成人は2000年4月から2001年3月に生まれた善男善女。皆様のお孫さんにもいらっしゃるのでは？

丁度20から21世紀の変わり目でミレニアなんて言われていた20年前どんな時代だったか思い出せますか？

沖縄でサミットが開催され、二千年札が発行されました。新500円硬貨の発行も2000年です。二千年札は2003年迄印刷されていましたがその後は無しです 2024年度に千円、五千円、1万円札が新しくなりますが二千年札は見送られています。「オハー」という言葉が流行語。福山雅治の桜坂がヒット曲に。シドニーで21世紀初のオリンピック開催、女子マラソンの高橋尚子選手や柔道女子の田村亮子選手を始め、たくさんの日本人選手が金メダルに輝きました。そうですあれからもう20年経過しました。早いですね。ご存知ない方も居ると思いますが、1999年から2000年に代わる時、コンピューターの時間が狂うかもしれないというコンピューターY2K問題が心配されました。私も仕事の関係で会社に詰めていました。12時の時報と同時に大変な事が起こるのではと緊張しましたが、日本各地、たいした問題は起きないで、ほっとした事が思い浮かびます。成人式とは関係ありませんね。失礼いたしました。 岩田



門松など正月飾りの片付け

この原稿 1 月 15 日に書いています。令和3年も早や半月が経過、相変わらずのコロナ騒ぎです。会報がお手元に届くころ話題としては少し時間遅れですが、皆様はお正月飾りの片付けはどのようになさいましたか？子供の頃、長野の佐久地方では、各家庭が指定された場所（河原など）に松飾を持ち寄り、やぐらに積み、火で燃やす「どんど焼き」で処理していました。片瀬に住んで 57 年その間一度も、「どんど焼き」は経験していません。ではどうしていたか？多少こだわりは有りましたが、可燃ごみとして捨てていました。古来門松・正月飾は、年神様がお正月に訪れるための目印とされています。そのように、めでたいお飾りを、いとも簡単に可燃ごみ扱いで良いのか？その行為 77 歳にしてふと気掛かりとなりました。「神社本庁」のホームページと言うサイトが有り調べて見ますと、「古い神札やお正月のお飾りは？」と題して、地域の分別にしたがって、自治体の回収に出せますが、神聖なものと思い扱いは丁重に。例えば、お塩を振り清めてから紙などにくるんで出します。大きなものは、小さく切るか折るなどして出しましょう。焼却施設のある神社やどんど焼きなどを行う地域では、受け入れ可能なところもあります。と有りました。「どんど焼き」での片付けを推奨している傍ら自治体のルールで回収とのこと。本家の指導ですから私の処理も間違えではなかった訳ですが、この際色々調べてみようかと、片老連会長。依藤さんに片瀬の風習をお聞きしたら、岩田さん 1 日遅かった、諏訪神社へ 14 日に持って行けば「どんど焼き」で処理して頂けると教えて頂きました。信仰上のことは抜きにして片瀬にも、「どんど焼き」を行うところが有ることを知りました。以前は龍口寺でも行っていたそうです。このこと町内会長の長谷川さんや、高橋幸さんにお聞きすればもっと早く知ることが出来たのではと少々反省しました。今年の松飾り、私は会員の成田さん宅の並びに有る花屋さんから買い求めました。ふと思いついたのですが、みゆきの入り口に有るこの花屋、「お正月が過ぎましたら、お店にお持ちください、こちらから、「どんど焼き」にお出しします。」と宣伝すれば、可燃ゴミとしていた私は安心して毎年この花屋で買うのだがと。そして近所の人への宣伝で少しは売り上げが伸びるかもしれません。田舎に居た頃「どんど焼き」は年中行事のひとつとして子供も参加していました。正月飾りに備えた、団子やスルメイカを焼いて食べた思い出が有ります。さあ正月も終わり、短い三学期も頑張っ行ってこうと心に誓った子供も居たと思います（私に限っては有りません）。日本古来の儀式と言うか習慣も次第に少なくなりつつある感が有ります（子供の頃正月に 6 年生が中心になり獅子舞で各家庭を回りお年玉を獲得。ポケットの中は 10 円玉で一杯 1~3 年生には学用品を買い与えました。皆様が子供の頃「どんど焼き」を経験したかは存じませんが、先程田舎に電話して見たら、今年はコロナの関係で取り止めた所もあるが、毎年地域の年中行事として行われているとの事で、ほっと致しました。獅子舞は 60 年前に消滅したようでした。岩田記

今後の主な行事・会合予定及び編集後記

例年でしたら、新年会の余韻に浸っている頃です。今年は新年から行事が中止、しかも再び緊急事態宣言と散々な年明けとなってしまいました。がまん、がまん。「欲しがりません勝つまでは！」正に戦時中です。湘南御行会として、何もしないで手をこまねいてばかりは、いられないとは思いますが、中々アイデアが浮かびません。矢張り組織は活動が無いと全く活気が有りませんね。グランドゴルフの皆さんは何とか活動はしていますが。その他は寂しい現状です。その中でコロナのワクチンが 2 月末ごろから接種が始まるというニュースが飛び交っています。明るい兆しと期待したいですね。我々の世代、耐えるは慣れっこ、開き直ってワクチンを待ちましょうか？これからの行事予定は緊急事態宣言解除、及び周りの動きに注目しながら決めていきます、岩田記